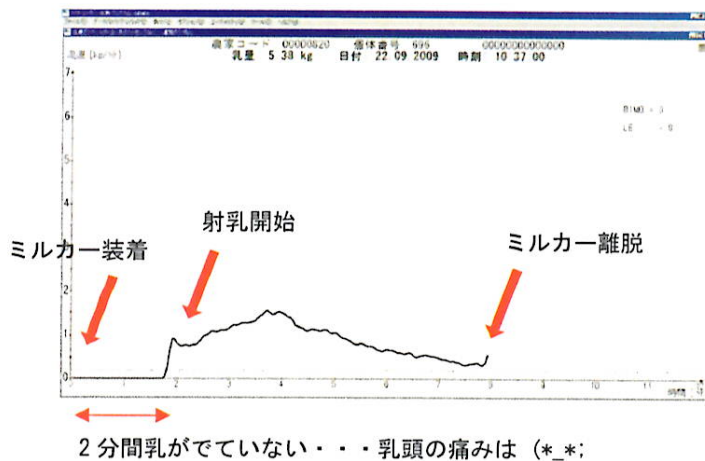


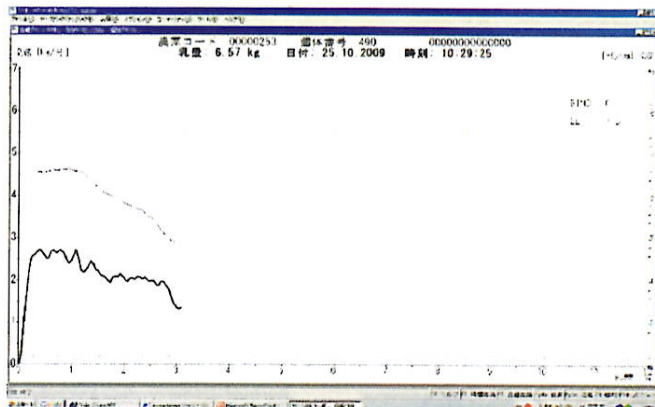
## 分娩直後の初産牛がかかえる搾乳リスク

### ① 分娩後、生まれて初めてパーラーに入った初産牛の泌乳



緊張とストレスにより、ミルカー装着後最初の2分間はミルクをまったく出していない  
後半はほとんどミルクを出していないのに、搾乳者が別の牛の搾乳をしているためなかなか離脱してもらえない  
8分間かかって5.4kgのミルク

### ② 分娩前から人に馴致されていた初産牛の泌乳 (人が常に声をかけさわっていた)



ミルカー装着直後から順調にミルクを出している  
搾乳中ウシはリラックスしている  
3分間で6.5kgのミルク

### <初産牛の分娩直後の搾乳はリスク>

- ・ 精神的ストレス (オキシトシンを阻害)
- ・ 小さな乳頭口
- ・ 乳頭の浮腫

搾乳が嫌いにならないようにより優しい接し方と搾乳が求められる

最新式のパーラーにもバケットミルカーの自動離脱装置はついていない!

⇒ バケットを付けたままどこかに行っちゃダメ

### <分娩前の未経産牛に時間を費やす>

イギリス ニューカッスル大学での研究

分娩前の未経産牛を2つのグループに分け、1群には分娩前6～13週の間、週に1回たったの5分間だけ牛をブラッシングした。

もう1群には何もしなかった。

⇒ ブラッシング群で分娩直後の泌乳が有意に速く多く搾乳された

佐竹

---